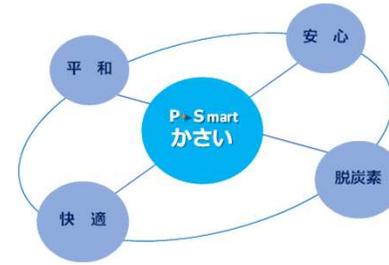


みんなで地域の未来を考えよう！



未来のまちづくりワークショップ

(加西市都市計画マスタープランの見直し)



令和4年5月

目次

全体説明

1. まちづくりワークショップについて
2. 都市計画マスタープランについて
3. 本日のワークショップ開催の目的
4. 本日の進め方

1. まちづくりワークショップについて

1. まちづくりワークショップについて

目的

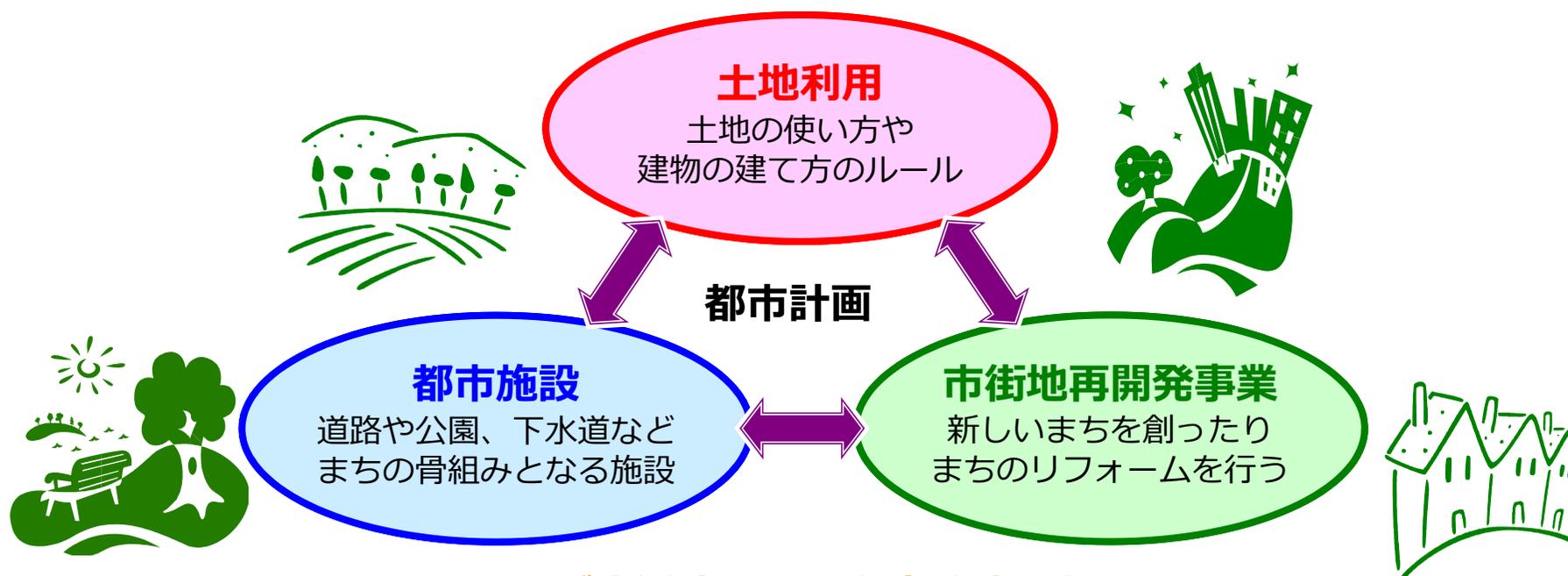
- ・ 現在、加西市では、まちづくりの目標や取組の方針を示した「**都市計画マスタープラン**」の見直しを行っています。
- ・ なお、都市計画マスタープランとは“**市町村の都市計画（まちづくり）に関する基本的な方針**”のことです。
- ・ このワークショップは、本計画の目標年次である**10年後やその先を展望**しながら、現在のまちの課題を解決したあるべきまちの姿について、地域の実情をよく知るみなさまにお伺いし、**今後のまちづくりに役立てる**ために開催するものです。

2. 都市計画マスタープランって？

2. 都市計画マスタープランについて

都市計画とは

- 都市計画は、大きく**土地利用**、**都市施設**、**市街地開発事業**の3つに分類することができ、人々の生活・生産活動を支える**基盤**となるものです。

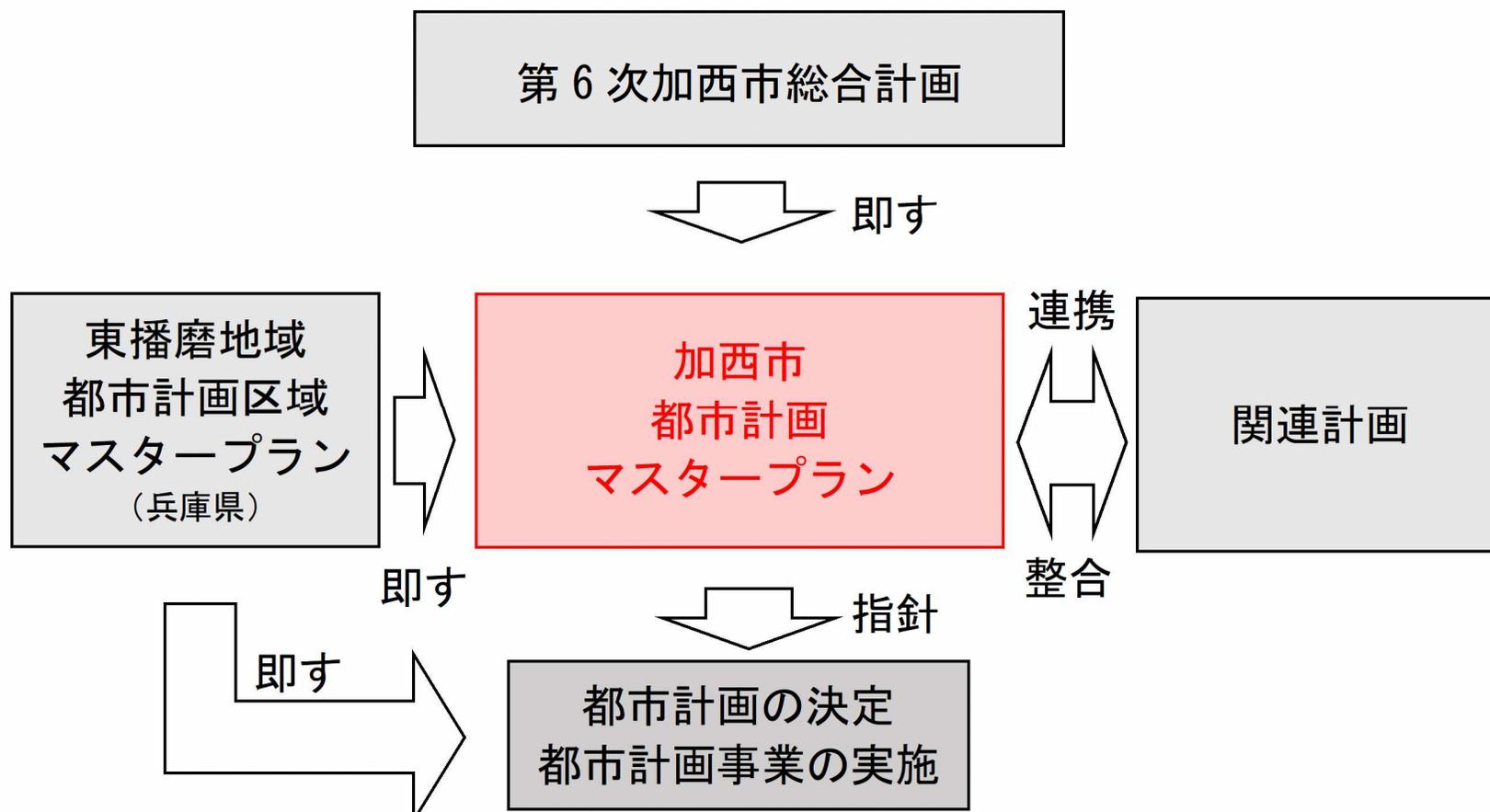


みなさんが生活するまちを良くするために、
「都市計画」が大きな役割を担っています

2. 都市計画マスタープランについて

都市計画マスタープランとは

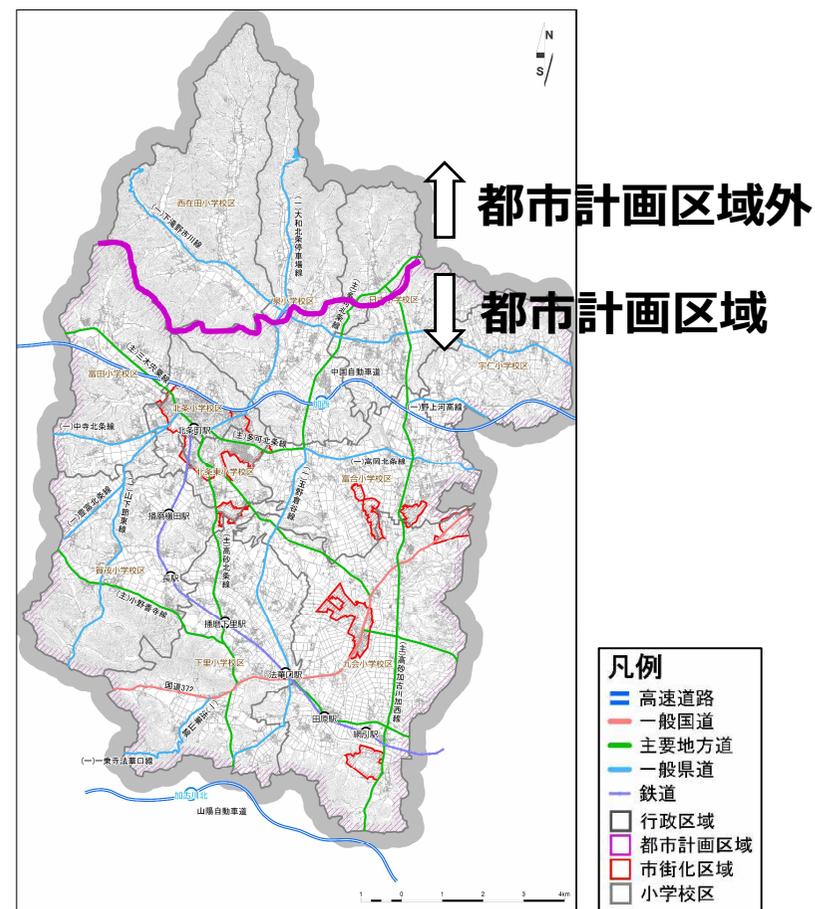
- これからの加西市の都市計画行政をはじめとした**まちづくりの指針**となる計画です。



2. 都市計画マスタープランについて

■ 計画対象範囲

- ・ 都市計画マスタープランの対象区域は、都市計画区域が基本となります。
- ・ 本市は、市域全体が都市計画区域となっておりませんが、一体的なまちづくりを推進するため、都市計画区域外も含めた全域を対象範囲とします。



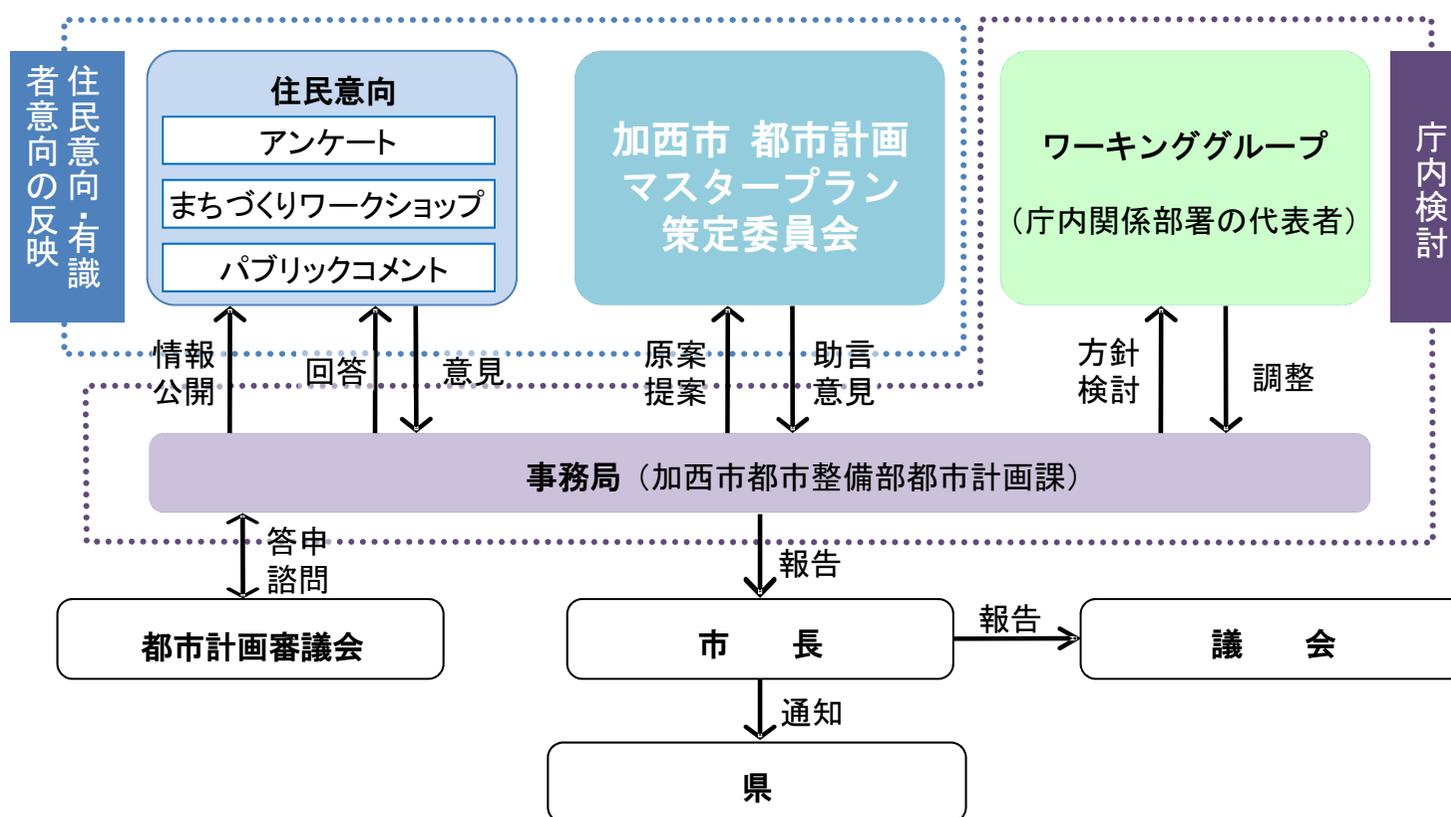
■ 目標年次

- ・ 概ね20年後を見据えたまちづくりの基本方針を定めるとされているため、令和5年から20年後を見据えた10年後の令和14年までの10年間とします。

2. 都市計画マスタープランについて

策定体制

- 策定委員会を中心に、本日のまちづくりワークショップ等により、住民の皆様のご意見を聞きながら策定を進めています。



2. 都市計画マスタープランについて

まちづくりの主要課題

● 加西市の特性に見合う都市構造の構築

- ・本市は、市街化調整区域に総人口の約2/3が居住しているが、効率的な都市経営の観点から立地適正化計画が標榜する「コンパクトネットワーク」の考え方は重要です。そのため、本市の状況を踏まえた、**加西市版コンパクトネットワークの構築**を模索する必要があります。
- ・本市は南北方向の幹線道路軸が脆弱で、また市内幹線も幅員が狭く大型車両が流入し円滑な交通体系とはなっていません。そのため、**本市に見合った道路体系の見直し**が必要です。
- ・将来の都市のあり方を踏まえ新型モビリティ導入の検討等により公共交通の利用促進を検討する必要があります。
- ・まちなかを歩行者が歩きたくなるよう、安全で快適な道路空間の形成が必要です。

2. 都市計画マスタープランについて

まちづくりの主要課題

●地域活性化に資する都市づくり

- ・市外からの流入による人口超過には限界であることから、**若者や女性の支持を得て加西市が選択されるまちづくり**が必要です。
- ・転入促進にむけ短期滞在やお試し居住などを二地域居住につなげるなどの取組を推進する必要があります。
- ・市街化区域が狭小であるため、人口増の受け皿として市街化調整区域も担う必要があります。そのため**特別指定区域制度の内容見直し**により新規居住者や外国人技能実習生等が定住できるようにする必要があります。
- ・歴史遺産群や地域活性化拠点施設の**「soraかさい」や整備検討中の「道の駅」をはじめ本市の特色を活かした観光振興**により地域を活性化する必要があります。
- ・工業用地不足を解消するため、**産業団地だけでなく地区計画により企業誘致**し、定住促進と地元集落の活性化に努める必要があります。

2. 都市計画マスタープランについて

まちづくりの主要課題

● 脱炭素、循環型社会の実現と最先端のまちづくり

- ・「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまち加西」を達成すべく、エネルギー自給力向上、**市民事業者の省エネ行動の拡大等の機運を高めるまちづくり**を推進する必要があります。
- ・本市が豊富に有する山や農地等が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進める**グリーンインフラ**の取組みを推進する必要があります。
- ・IoTで全ての人とモノがつながり、人工知能（AI）の活用により必要な情報が必要な時に提供され、ロボットや自動走行車技術で、都市課題が解決され、市民の暮らし向きが向上する**スマートシティ**の検討をする必要があります。

2. 都市計画マスタープランについて

まちづくりの主要課題

● 効率的な行財政運営と住民・行政の協働の推進

- ・人口が大幅に増加する見込みがなく今後大きな財政収入が見込めない中で、長期未着手の都市施設の見直しや公共施設の適切な維持管理等による長寿命化を図るなど、**有効かつ効率的に行財政を運営**していく必要があります。
- ・広範に及ぶまちづくり施策を行政だけで実現することは難しく、道路や公園などの公共施設の維持管理など**市民と行政が協働で取組む**ことが重要です。

● 大規模災害に対する備え

- ・本市は、北条の市街化区域内の一部や斜面地や斜面沿いの幹線道路の土砂災害被害や富田校区や九会校区の網引駅から万願寺川の合流部にかけて洪水浸水想定区域では河川浸水の懸念があります。災害リスクの低い場所への居住誘導など**災害リスクを踏まえた土地利用のあり方を検討**するとともに、**避難施設の更なる充実や避難路の確保、住宅密集地などの解消やオープンスペースの設置**といった都市基盤の整備のほか、**自主防災組織が有事に機能できる体制となっている**ことなど、住民の命と生活を守るための対策が急務となっています。

2. 都市計画マスタープランについて

まちづくりの基本目標

未来に輝くまちづくり

- 未来の子ども達へ美しいまち・美しい地球を遺すべく、**エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまちづくり**の推進
- 未来をみすえIoTと融合させたまちづくり**を推進し、みどりあふれ人や自然に優しく若い世代に選ばれる、未来に輝くまちづくりに取組みます。

便利で暮らしやすいまちづくり

- 各集落の拠点性を向上させることによる均衡ある発展とともに、市内の容易な移動を可能にする交通体系を構築**した「加西市版コンパクトプラスネットワーク」を目指します。
- 移動にあたっては集落間の移動を容易にする**自動運転やデマンドバス・タクシーの導入について検討**します。
- 若い世代や市外からの受入れ先となるよう、**都市イメージを刷新する市街地整備**を推進します。
- 誰もが不自由なく快適に暮らすことのできる**インクルーシブなまちづくり**を推進します。

2. 都市計画マスタープランについて

まちづくりの基本目標

活気あるまちづくり

- 集落内で職住が近接することにより各集落が持続的に発展できるよう、**競争力のあ
る産業を支え、メリハリがあり活気あるまちづくり**を推進します。

安全安心なまちづくり

- 災害リスクを低減し安全なまちとするため、**減災の取組**を進めます。
- 災害リスクの低減が困難な場所へは居住を誘導しない**こととします。
- IoTを活用した防災・防犯まちづくりについても検討**します。

2. 都市計画マスタープランについて

まちづくりの基本目標

マネジメントされたまちづくり

- 公共施設や遊休地等の既存ストックを活用し、民間企業等の人材やノウハウを活用するなど、**人・モノ・金・土地・ハコモノ**など資源を総動員し、**効率的なまちづくりを推進**します。
- 住民が率先してまちづくりに取り組めるよう、積極的な参加機会を創出します。
- これらの**行政、企業、住民の協働による、新しい時代のまちのマネジメント**を目指します。

地域主体のまちづくり

- 今後さらに多様化・複雑化する地域課題に対応するため、多くの地域住民の皆さんが話し合い「地域で決めて、地域で実行する」仕組みとしてふるさと創造会議が設置されています。ここで**多様な地域住民の参画のものと、各種団体との協働により地域の課題や特色に応じた様々な活動を引き続き推進**します。

3. 本日のワークショップ開催の目的

3. 本日のワークショップ開催の目的

- ・近年のコロナウイルス感染症の蔓延、情報通信技術の進展等、さらに地球温暖化を背景とした脱炭素の動きなど、これまでのまちづくりの常識にとらわれない、新しい考え方や行動が必要となっています。
- ・都市計画マスタープランが目指す**10年後だけでなく、その先も展望しながら、現在のまちの課題解決にむけ地域の実情をよく知る若い世代のみなさまの意見**をおうかがいし、これを取り入れた先進的な計画とするため、本日「**未来のまちづくりワークショップ**」を開催します。
- ・本計画では、今日みなさまから頂きましたご意見をふまえ、**日ごろから各地域のまちづくりに参画されている幅広い方々に対し後日ワークショップを開催**する予定です。
- ・また、2回目のワークショップも開催予定でございますので、ご都合がよろしければ、次回もご参加ください。

4. 本日の進め方

4. 本日の進め方

WS当日のパソコン画面（1/6）

「どこから加西市のスマート化に取り組むか？」

Introduction 15min

開催のあいさつ：加西市様 (3min)

概要説明ワークショップの目的や進め方：戸田・鈞持 (12min)

Information input 「日本のスマートシティ構想の実例と傾向」 by Andeco早川さん 15min

Total
150min

自己紹介タイム：10min

↓以降、各グループに分かれて作業

ステップ①ターゲットとプレイスのピックアップ：15min

・街のスマート化について、誰を対象に、どこで実施するか？ みんなで議論しよう。それぞれが気になる対象が違う事を話し合おう。最後は使うカードを決定しよう。

ステップ②：困りごとを可視化してみよう：25min

- ・①で決めたカードを縦横に置いて、それぞれの項目に困りごとを書き込もう（想像、ヒアリング、データからでもなんでも）
- ・表をうめてそれぞれの場所でだれが困っているかニーズを探ってみよう。

ステップ③取り組む課題を決定しよう：15min

- ・困りごと（課題）の重要度を評価して、どこから取り組んでいくべきか考えてみよう。

ステップ④取組課題を3つ選ぼう：10min

- ・重要度を話し合っ、3つの課題をピックアップしてみよう。

■最終：3グループ発表 5min x 3 :15min

4. 本日の進め方

WS当日のパソコン画面 (2/6)

- まずはMURALの操作に慣れるためと初めて会うチームメンバーと打ち解けるために

自己紹介タイム

10min

- ・MURALの操作に慣れるために自己紹介を作って発表してください。
- ・作業5分、発表一人1分ほどで完了してください。

名前、所属、普段やっていること、今困ってること など



名前	→ コピペしてください	所属	→ コピペしてください	普段やっていること	→ コピペしてください	今困ってること
名前	→ コピペしてください	所属	→ コピペしてください	普段やっていること	→ コピペしてください	今困ってること
名前	→ コピペしてください	所属	→ コピペしてください	普段やっていること	→ コピペしてください	今困ってること
名前	→ コピペしてください	所属	→ コピペしてください	普段やっていること	→ コピペしてください	今困ってること
名前	→ コピペしてください	所属	→ コピペしてください	普段やっていること	→ コピペしてください	今困ってること

10min

15:00-15:10

4. 本日の進め方

WS当日のパソコン画面 (3/6)

ステップ①ターゲットとプレイスのピックアップ:

15min

- ・まずはひとりずつ「直感的に」スマート化の対象としたいターゲットとプレイスをピックアップして右のマスに入れてみてください。
- ・なんでそれが気になったか？ 発表しながら議論して、最後はみんなでそれぞれ4つにしぼって決定してください。
- ・人によって気になっている対象が違うことや、自分では気づいていなかった問題意識に目を向けてみよう。

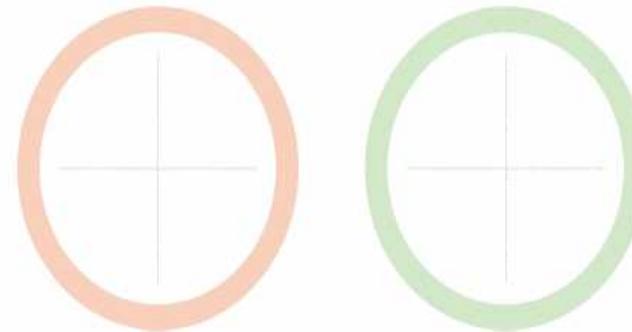
一人ひとつずつ選んでください

カードをコピーし右のマスに移動してください



決定カード

なぜそのカードを選んだのか？ 発表して共有してください。
決定ターゲット 4つ
決定プレイス 4つ



最後は議論して4つずつ決定してください。

15min

15:15-15:30

4. 本日の進め方

WS当日のパソコン画面 (4/6)

ステップ②: 困りごとを可視化してみよう: 25min

- ①で決めたカードを縦横に置いて、それぞれの項目に困りごとを書き込もう (想像、ヒアリング、データからでもなんでも)

どんな困りごとがあるか? (想像、インプットから、普段の生活から)

プレイス	カード			
ターゲット				

付箋をコピーして使用してください

発想に困ったら、このカードを置いてシチュエーションを想像してみよう



25min

15:30-15:55

4. 本日の進め方

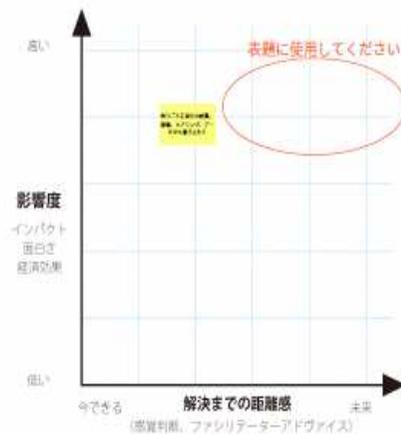
WS当日のパソコン画面 (5/6)

ステップ③困りごとを評価して、取り組む課題を決定しよう:

15min

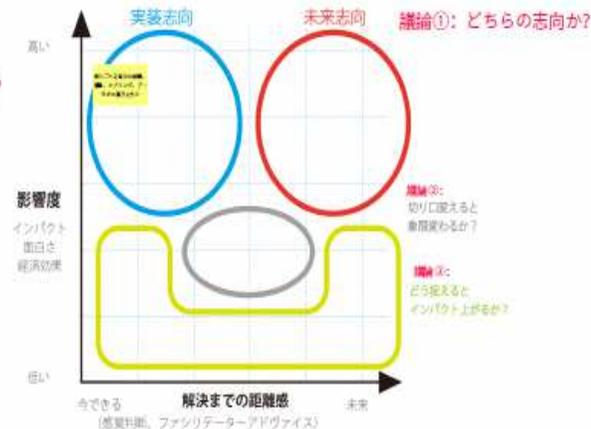
- ・ 共通性のある項目をグループ化→表題を付ける→わかりやすいグループを基準に置いて、上下左右グループごとに配置してみよう。
- ・ 項目に出てきた問題、課題をグラフに評価して、今回はどの問題解決に取り組むか決定しよう。

どんな困りごとがあるか?



コピーして移動してみよう

どんな困りごとがあるか?



15min

15:55-16:10

4. 本日の進め方

WS当日のパソコン画面 (6/6)

ステップ④決定した取組課題
重要度を話し合っ、3つの課題をピックアップしよう

■取組課題:

課題の表題を付けよう

決定した理由:
解決のための糸口(仮説)も
あれば書き込もう

■取組課題:

課題の表題を付けよう

決定した理由:
解決のための糸口(仮説)も
あれば書き込もう

■取組課題:

課題の表題を付けよう

決定した理由:
解決のための糸口(仮説)も
あれば書き込もう

10min

16:10-16:20

グループ発表
5min x 3 team
16:20-16:35
まとめとフィードバック
16:35-16:47 (12min)
全体統括
16:47-16:50
閉会のあいさつ
16:50-16:55

5分ほどの発表を行います。発表者を決定しておいてください

4. 本日の進め方

タイムテーブル

日時	所用時間	担当	内容
14:30-14:33	3分	加西市	・開催の挨拶
14:33-14:45	12分	戸田 鋤持サポート	・概要説明：ワークショップの目的や進め方の説明
14:45-15:00	15分	早川	・インプットセミナー：日本のスマートシティ構想の実例と傾向
15:00-15:10	10分	各ファシリテーターより	・自己紹介タイム：MURALの操作に慣れることも兼ねて自己紹介
休憩・時間調整（5分程度）			
15:15-15:30	15分	同上	・ターゲットとプレイスのピックアップ：それぞれ気になる対象が違うことを話し合おう
15:30-15:55	25分	同上	・困りごとを可視化しよう：表を埋めて、それぞれの場所で誰が困っているかニーズを探ってみよう
15:55-16:10	15分	同上	・取組む課題を決定しよう：困りごと（課題）の重要度を評価して、どこから取り組んでいくべきか考えてみよう
16:10-16:20	10分	同上	・取組課題を3つ選ぼう：重要度を話し合って、3つの課題をピックアップしてみよう
16:20-16:35	15分	各チームの代表+鋤持	・結論発表：議論の流れと、決定した取組課題をみんなに発表各チームの違いや、共通点など意識しながら聞こう
16:35-16:40	5分	鋤持	・まとめとフィードバック
16:40-16:50	10分	戸田	・全体統括
16:50-16:55	5分	加西市	・閉会の挨拶